

評価対象事業		評価者	商工課長 箱崎 泰一	
市民-20	商工会議所助成事業	☒ 自治事務	主管課	商工課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	事業者等
意図	市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。
効果	地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

2 令和5年度（2023年度）に実施した事業の概要

商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）	
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）	
01	商工会議所助成事業	商工会議所運営費補助金	鎌倉商工会議所会員数（人）	2072人 / -	-	-	-
				6,935 / 6,935	6,935	7,605	-
02	商工業振興事業等助成事業	商工業振興事業等補助金	-	/	-	-	-
				553 / 553	553	553	-
03	中小企業経営相談等助成事業	中小企業経営支援事業補助金	商工会議所による指導件数（巡回指導、窓口指導及び創業指導の件数）（件）	4309件 / -	-	-	-
				7,179 / 7,179	7,179	7,179	-
04			経営発達支援計画における売上高増加事業者数の合計（社）	209社 / 435社	435社	435社	48.0%
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	14,667 / 14,667	14,667	15,337	
		事業費の合計（千円）		14,667 / 14,667	14,667	15,337	
		人件費（千円）			760	779	

4 この事業に関わる職員数（毎年度4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	商工会議所助成事業	指標： 鎌倉商工会議所会員数 指標分析： 鎌倉商工会議所の会員数の推移を把握することで、会議所の活動の状況を測るため。 なお、会員数の増減は市の働きかけによるものではないため、目標値は設定しない。	商工会議所の運営と事業を支援することで、市内の商工業の改善・発達を図った。	特段の課題はない。
02	商工業振興事業等助成事業	指標：設定しない 鎌倉商工会議所の運営に対する助成事業のため、指標設定にはそぐわない。	商工会議所の運営と事業を支援することで、市内の商工業の改善・発達を図った。	特段の課題はない。
03	中小企業経営相談等助成事業	指標：商工会議所による指導件数(巡回指導、窓口指導及び創業指導の件数)(件) 指標分析： 一定のニーズがあることから、引き続き支援していく。 事業者の状況によって上下するものであるため、目標値は定めていない。	本事業の実施を通し、市内の中小企業者を支援することで、市内の商工業の発展に寄与した。	商工会議所の事業ではあるが、創業支援等事業計画に基づき、連携体制をとって進める必要がある。
04		指標： 経営発達支援計画における売上高増加事業者数の合計 指標分析： 商工会議所が市からの補助金を受けて実施している中小企業経営相談等助成事業が中小企業の売上の増加にどれだけ寄与したかを示すもの。 目標値は、経営発達支援計画における目標値とした。(令和2年度～令和6年度で延べ435社)	本事業の実施を通し、市内の中小企業者を支援することで、市内の商工業の発展に寄与した。	商工会議所の事業ではあるが、経営発達支援計画に基づき、連携体制をとって進める必要がある。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない		
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない		
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない		
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある		
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない		
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である		
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない	
			協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
鎌倉商工会議所を支援することにより、市内事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図り、地域産業の振興と活力あるまちの創造に努める。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉商工会議所会員数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
鎌倉商工会議所の会員数の推移を把握することで、会議所の活動の状況を測るため。 なお、会員数の増減は市の働きかけによるものではないため、目標値は設定しない。	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	1,973	2,027	2,052	2,072			
	達成率	-	-	-	-			

指標(単位)	商工会議所による指導件数(巡回指導、窓口指導及び創業指導の件数)						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
商工会議所の指導件数の推移を把握するため(商工会議所の指導件数については、事業者の状況によって上下するものであるため、目標値は定めていない。)	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	4,368	4,853	4,977	4,309			
	達成率	-	-	-	-			

指標(単位)	経営発達支援計画における売上高増加事業者数の合計						単位	社
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
商工会議所が市からの補助金を受けて実施している中小企業経営相談等助成事業が中小企業の売上の増加にどれだけ寄与したかを示すもの。 (R5実績は8月に確定)	目標値	-	-	435	435	435	-	
	実績値	-	146	209				
	達成率	-	-	48.0%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	商工会議所に対する補助							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	三浦市	
他市実績	有	有	有	有	有	有	有	

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	商工会議所は、商工業の総合的な改善発達を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、商工会議所法に基づき設置された団体であり、他市においても補助を実施している。
--------------------------	--